



Weekly Report

Engage Rotary Change Lives

ロータリーを实践しみんな豊かな人生を

2013-2014 年度 R.I.会長

ロン D.バートン

名古屋アイリスロータリークラブ

例会日 毎週水曜日 13:00-14:00

例会場 ANA クラウンプラザホテル

グランコート名古屋

創立 2013年6月5日

会長 八神 基 幹事 荒山 久美

第28回例会 2014年1月22日 水曜日 晴れ

斉唱 「それこそロータリー」

出席者報告

例会	第28回(1/22)	第27回(1/15)	第26回(1/8)
会員数	32名	32名	32名
出席	24名	18名	25名
欠席	8名	13名	5名
Make Up		1名	2名
出席率	75.00%	59.37%	84.38%

ゲスト紹介

名古屋港 RC 梅田 武久 様

名古屋北 RC 浦野 三男特別代表

ニコボックス報告

安井副会長

名古屋港 RC 梅田武久君をお迎えして。

櫻井親睦委員長

今日は良い天気にて気持ちよいですね。

鈴田正道さん

昨年 12/20 に社長になりました。今後も宜しくお願い致します。

会長挨拶

鉄腕アトムの基本とされる“ロボットの三原則”を謳った SF 作家のアイザック・アシモフ(ホンダのアシモにも影響)が、1964年のニューヨーク万博で、50年後の今年 2014年の万博で見ることが出来るであろう技術の未来予測の結果はどうだったか？ 実現したものには、例えば“家事ロボット”や“自動運転の自動

車”“静止衛星を利用した通話”“などがあります。一方、予想が外れたものには、地上の太陽とされる”核融合炉”や人が滞在する“月面基地”など。50年後の技術予想は結構当たっています。

私はここ 10 数年に亘り、その年の政治・経済・社会・スポーツでの出来事の予想を 10 問つくり、仲間と「当たった・外れた」と楽しんでいます。

今年予想問題は、①日経平均株価 ②US ドルとの為替レート ③年末での総理大臣 ④東京都知事 ⑤中国・韓国との首脳会談 ⑥原発の稼働数 ⑦ソチ冬季オリンピックでの金メダル ⑧ブラジルでのワールドカップで日本チームは？ ⑨中日はクライマックスシリーズ出場？また巨人の日本一は？ ⑩稀勢の里の横綱と優勝回数 の 10 問を 4 択から 1 つ選んで、その当たりの回答数で順位を出します。今年も予想課題の行方をキャッチしながら一年間に亘り楽しみます。

本日の卓話

「自己紹介と私の職業について」

長谷川 芳子さん

私は、名古屋市中区大須で生まれ、その後金城学院中学、高校、大学を卒業しました。平成 4 年に長谷川家具(株)に入社しました。この長谷川家具は祖父が昭和 28 年に家具屋として設立した会社です。私どもの話をする上で設立者である祖父の話を交えながらお話をしたいと思います。祖父は今年の 1 月 1 日に満 98 歳になりましたが、現在も自宅で元気に暮らしています。祖父は小学校を卒業すると椅子屋に丁稚奉公に行き、

椅子の張替え等を学び椅子職人として中区大須で家具屋を始めました。家具屋を始めた6年後の昭和34年は伊勢湾台風のあった年になりますが、大須の若宮大通り沿いに80坪の土地を坪1,000円の8万円で買いビルを建てたのが貸しビル業の始まりです。現在、家具は扱っていませんので職種としては貸しビル賃貸マンション業になりますが、会社の名称は思い入れのある設立当初のまま「長谷川家具株式会社」として使わせて頂いています。この最初に建てたビルは第1ハセビルと言いますが、この第1ハセビルは今も若宮大通り沿いに建っておりますが、当時は道路も舗装されていない砂利道で周りも木造の住宅ばかりだったのですが、こんなところにビルを建てるなんて何て無謀なことだと祖父は頭が可笑しくなったのではないかと周りの人に言われていたそうです。しかし、有難いことに竣工前にはすべての部屋が満室となり祖父の努力の甲斐があってその後長谷川家具のハセビルは複数の貸しビルや賃貸マンションをもつことが出来ました。

祖父は自分にも他人にも大変厳しい人でしたので、孫だからといって一切の手心を与えることはありませんでした。むしろその全く逆で身内だからこそ手厳しく接し、すべての事を一から教えてくれました。会社に入って祖父の命令で一週間は毎日すべてのビルのトイレとビルの掃除をさせられました。させられた当時は何でトイレの掃除を私がしなければならないのと大変怒っていましたが、何年かしてこのトイレ掃除とビルの掃除が貸しビル業にとってはやらなくてはならない第一のことで、どれ程大切なことか知ることとなりました。お陰様で社長となった今でも私の一番の仕事はビルの掃除だと言ってもいいです。

私どもの仕事は大きく2つにわかれると思います。1つはビルの掃除などもこの内に入りますが、今ある建物の維持管理をすること、2つめは土地を買いそこに建物を建てることです。1つめの維持管理をすることは色々なことに気を配る必要があります。掃除をしたり古くなったところを修繕したりするのは当然のことですが、入居者の方がどんな状態なのかを把握しておくという意味で朝夕の挨拶や何気ない会話が大変大切な仕事だったりします。2つめは土地を買い建物を建てるということは、資金もかかりますし簡単なこと

ではありません。以前お話したこともありますが、弊社は古い建物が多いので老朽化している建物の改修や改築、建て替えが現実的な仕事になります。

祖父から引き継いだ時、すべてのビルは満室でしたので余り感じなかったのですが、あるとき弊社のビルはすべて古い！！老朽化していると言う事に気づきました。私が気づく程ですから当然退去が相次いで行きました。一時はビルの半分ほどが空室になるまで空き部屋ばかりになってしまいました。そこで、私は弊社所有の賃貸マンションを1つ売り資金を作り、一番初めにお話しした第一ハセビル以外の古くなったすべてのビルを5年かけて少しずつ改修しました。この改修工事、いわゆるリノベーションですがこれにも色々苦労しましたが、リノベーション後は段々と入居者が増え満室となりました。現在、空室はありますがほぼ満室に近い状態になっています。この時初めて祖父の苦労が身にしみて分かり、満室にする大変さを実感し古いビルばかりを残してと怒っていましたが、心から祖父に感謝しました。

この様なことが私の仕事になります。普通の仕事に比べるとお気楽に見えるかもしれませんが、現実には1年中休みのない仕事になりますし、ビル管理を自社でやっていることもあり夜中に入居者からの電話が鳴れば迅速に対応しなくてはなりません。集中豪雨の時には深夜にすべての建物に浸水がないかを見て回りへとへとになった記憶がありますが、災害時に建物を見て回るのも仕事の内なので当然といえばそれまでですが、いつまでたっても集中豪雨や地震後の見回りに慣れることはありません。

現在弊社のオフィスは3年ほど前に大須に建てたハセビル8に入っています。このハセビル8という建物は、海外の建築のHPで紹介され、また建築オタクの人がビルの写真を撮りに来るくらい大変斬新なデザインのビルです。最近はややくあの変わった建物のビルと言われるようになったくらい地域の人に知られてきました。

こういった新しい建物を通じて私の生れ育った大須という街に新しい風を吹き込み、大須の街を支えてくれる若い才能を応援していくのが、弊社の社会貢献に繋がると思っています。